# 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

## 【事例概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	火災出場。ホース延長時に起きたフェンス乗り越え時のヒヤリハット事 例
3. 体験した事例の中心的要素	建物開口部に向かってホース延長する際、途中に高さ約2mのフェンスがあったのでホースを向こう側に投げたのち、自分もよじ登ってフェンスを越えようとしたが、フェンスの上から飛び降りようとした際に安全帯がフェンスに引っ掛かり、一瞬ぶら下がり状態になった後、引っ掛かりがとれて下へ落ちそうになったもの。
4. 体験した事例の原因・理由	安全帯のロープ部分をポケットに入れておく等の適切な余長処理が出来 ていなかった事。 フェンスから降りる時も慎重になるべきだったが、横着して飛び降りよ うとした事。 作業に集中しすぎて安全確認等をおろそかにした事。

## 【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。行動の実行に問題があった。

# 【体験した事例について】

1. 発生日時	平成 21 年 5 月 30 日 午後 9 時頃
2 発生した単時の工程	<b>小</b>
2. 発生した当時の天候	<b>芸</b>
3.発生した活動現場	屋外:工場の駐車場と道路を隔てるフェンス
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
	お佐のおけましていた(とはていた)がフェ
5 事故の程度(ヒヤリハットの場	軽傷の怪我をしていた(させていた)だろう。
合、仮に負傷したときの程度)	
6. どのようなことが起きたのか	墜落・転落、
(起きそうになったのか)	
7. 事例体験時の活動	火災現場活動初期、
	[ 防火造建物 ]
8. (7の活動中)	ホース延長、
どのような作業中に発生したか	
9. 同様の体験は、これまでにどの	初めて体験した。
程度の頻度で体験していますか。	

#### 10. ヒヤリハット体験当事者の属性(回答者は当事者A)

〇当事者 A	年齢[27]歳、 勤続年数[1.3]年、 現場経験年数[0.8] 年、 階級[消防士]、
	同様の活動 [ 頻繁 ]、 任務 [ 隊員 ]
〇当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、
	同様の活動[ ]、 任務[ ]
〇当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、
	同様の活動[ ]、 任務[ ]
その他	
(当事者が4人以上の場合)	

#### 11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	Aが	開口部に向かって島田折のホースを延長	
経過2		途中、金網のフェンスがあったので、 乗り越える為に反対側へホースを投げた。	
経過3		自分も超える為に、背中に管そうと呼吸器をしょった 状態でフェンスをまたぐ。	
経過4		気付かない間にフェンスのでっぱりに、安全帯のロー プが引っ掛かる。	
経過5		フェンスを飛び下りようとしが、 引っ掛かった安全帯により一瞬宙吊り状態。	
経過6		そのまま落ちそうになったが、 金網につかまる。	
経過7		ゆっくりと下へ降りて、再びホース延長	
経過8			
経過9			
経過 10			

### 【その事例発生時の状況について】

○事故の場合:事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか?

体力、反射神経等身体能力が優れていた。避難・退避がうまくいった。たまたま、負傷事故にならなかった。

### 〇心理・体調について

a. あせりを感じていた

2. O) C / C / C	
・早く、現場到着や、活動をしなければならないという"あせり"を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており"あせり"を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより"あせり"を感じていた。	いいえ

#### b. 注意力が欠如していた

事例情報シート解析候補(2009)

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

#### c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

#### d. 心身の不調があった

	・体調が悪かった。	いいえ
-	・悩み事があった。	いいえ

#### ○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

#### ○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。		いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えな	かった。	いいえ

#### g. 行動しにくい環境だった。

_	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	・狭隘な場所であった。	いいえ
	・暑かった(寒かった)。	いいえ
	・野次馬が多かった。	いいえ
Ī	・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

#### h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

### ○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかっ	た。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りが	あった。	いいえ
・指示内容が実施困難であ	った。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

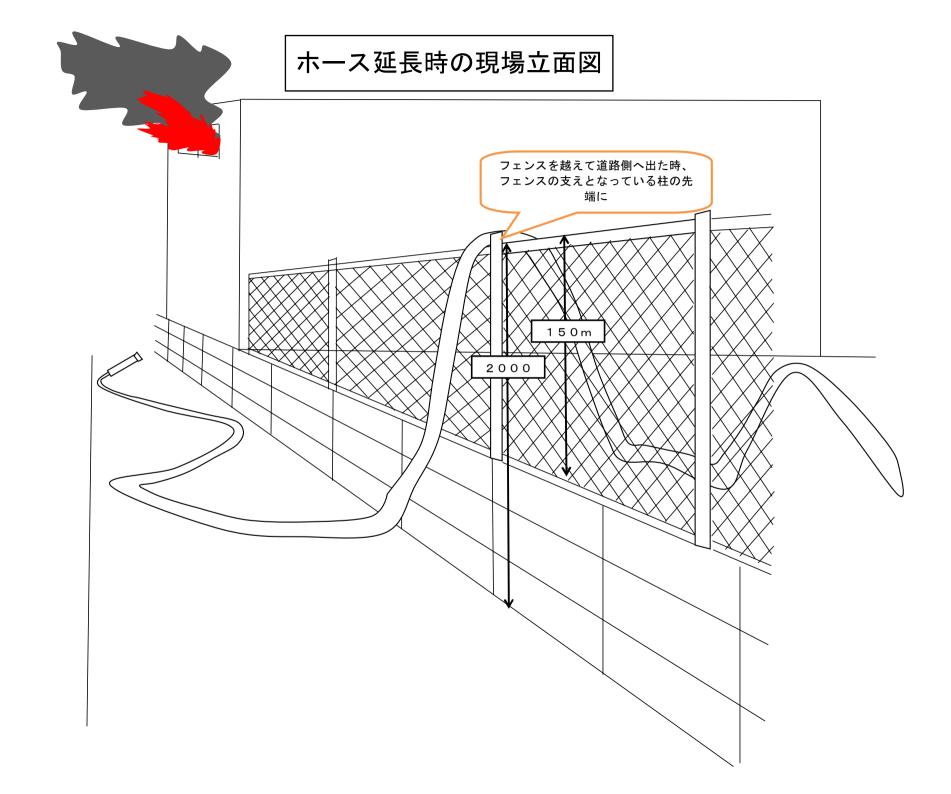
k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

### 〇その他

I. その他の理由があった。

いいえ



·発生日時 : 平成21年5月30日 午後21時頃

経過	現場の状況	隊員A 隊員/消防士 ・年齢 27 歳 ・勤続 1.3 年 ・現場 0.8 年 ・同様の活動:頻繁	備考
出動指令》出動送上	火災の出動指令		火災への消防出動
現場到着	工場の駐車場と道路を隔てるフェンス	現場到着 金網のフェンスを乗り越える為に反対側へホースを 投げた	
活動初期		背中に管そうと呼吸器を背負った状態でフェンスをまたぐ フェンスの突端部に、安全帯のロープが引っ掛かる  ▼ 安全帯のロープが引っ掛かったまま飛び下りたため宙吊り状態になる ▼	作業に集中しすぎて安全確認等をおろそかにした 安全帯のロープ部分をポケットに入れるなど、適切な余長処理が出来なかった フェンスから下りる時も飛び下りず、慎重に下りるべきだった
活動中期		墜落しそうになり、金網につかまる  ▼  ゆっくりと下りて、再びホース延長を行った	

# ◎事故が起きたのはどうしてだと思うか?

- ○直接的な原因:行動の意志決定に問題があった。行動の実行に問題があった。
- ・体力、反射神経等身体能力が優れていた。
- ・避難・退避がうまくいった。
- たまたま、負傷事故にならなかった。

# ◎事故が起きた背後要因

- (心理・体調について)
- ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという"あせり"を感じていた。
- ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。
- ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。
- ・活動に対する経験が不足していた。
- (装備・資機材について)
- ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。